



地域の方に「さんさん山城があってよかった！」

と言ってもらえる就労支援事業所を目指して。

「さんさん山城」



京都府京田辺市に拠点を置く障害者の就労支援事業所です。聴覚障害者を中心に、精神障害者や知的障害者も含め、現在約30人の皆さんが**各自の特性を生かして**、生き生きと日中活動に励んでいらっしゃいます。

開所以来、近隣の農家とともに地域に根ざした活動を進め、現在では「**京都宇治茶**」「**京都えびいも**」「**京都田辺茄子**」など、地域特産品を栽培、仲間人を経て、京都の高級料亭等にも卸されています。

また、事業所内には子ども連れのママさんたちがおしゃべりできる和室や近隣の誰もが利用できる「**コミュニティカフェ**」があり、毎日フコイン（500円）で先の特産品を使った日替わりランチがいただけます。



これまで訪問するたびに新免施設長（写真）のお言葉や利用者皆さんのパワフルな様子に圧倒されて、



「ここには何かある！」と感じた私は、施設長に単独インタビューを試みました！



本日はお忙しい中、ありがとうございます。

では最初に、「さんさん山城」様が協力雇用主になっていただいた「きっかけ」を教えてくださいませんか。

京都保護観察所からお話をいただいたのが最初でした。約30人の利用者、いろんな人がいますが、障害種別ごとに一括りにすることはできません。それは「**触法者**」にも言えることです。ここで

の作業や人間関係がご本人に合えば続けられ良いし、合わなければ別のところで再チャレンジするのも決して悪い

ことではありません。

なるほど、まずは受け入れていただき、その後はご本人の主体性に委ねるといことですね。

さまざまな利用者さんがいらっしゃる利用者さん同士のトラブルもあると思うのですが・・・

もちろん職員が介入しますが、最終的には当事者間で解決、また納得できるよう支援しております。

利用者さんとしては、せっかく巡り合った生活環境や日中活動の場を手放したくはないですものね。

「さんさん山城」様の活動が次々に広がりを見せているように感じますが、何か「**秘訣**」があるのですか？

今まで多くの困難がありました。その都度多くの方々に助けられました。今は自分たちの取組を通して、これまでに支えてくださった方々が少しでも喜んでもらえれば、と

思っています。

「さんさん山城」様からの発信が、さまざまな社会資源とのつながりを生み出すわけですね。

最後に「さんさん山城」様は「**京都市農福連携プロジェクト**」「**南サテライト**」でいらっしゃいますが、プロジェクトを推進していく中での役割はどのようなものですか？

これまでと変わらず、地域の中の社会資源の一つとして、地元の方々に必要とされる事業所でありたいです。

なるほど、「さんさん山城」様が地域にしっかり根ざし、皆さんの日常生活の「コマ」として地域の課題やニーズに対応していくというのは本当に素晴らしいと感じます。

「さんさん山城」様のこれからの活躍がとても楽しみです。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

